

## 第18回ブルーム展 開催

平成28年1月30日(土)から2月4日(木)までの6日間、神戸市中央区の神戸トア・ギャラリー(TOR GALLERY)において、神戸女子短期大学卒業制作展「第18回 ブルーム展」を開催しました。

ブルーム展は、ゼミや授業で制作した作品を全学科合同で展示する制作展として、毎年開催しています。他学科の学生の作品を一斉に見ることができ、学生たちからも大変好評です。今回は、ウエディングドレスや絵本、手工芸品など約200点ものさまざまな作品が展示されました。

初日に会場で受付を担当した総合生活学科の学生は、ウエディングドレスと住宅模型を制作・出品しました。一年をかけ渾身の力を注いで制作した作品に対して、来場された方々からお褒めいただいた言葉は、学生にとって大きな励みになりました。

「ブルーム(BLOOM)展」の名前には、蕾のような学生たちが一般社会へと旅立ち大輪の花を咲かせるように、との願いもこめられています。学生たちが学んできた集大成といえる作品展は、今年度も開催予定です。



展示されたウエディングドレス



長瀬荘一学長と受付の学生



## ウエディングドレスショー 開催

平成28年1月26日(火)神戸女子短期大学ポートアイランドキャンパスにおいて「ウエディングドレスショー」を開催しました。

古田 貴美子講師が担当する総合生活学科・被服製作ゼミでは、学生一人ひとりがウエディングドレスを製作。一年をかけてデザインの考案、生地選びから縫製まで行い完成させます。その集大成として、毎年ウエディングドレスショーを行っています。今回は12名の学生が参加しました。



ショーの後、全員で記念撮影

ショーでは、自作のドレスを身に纏った学生たちが教員のエスコートで登場。清楚な純白ドレスや、たくさんのバラをあしらった華やかなドレス、ブルーやピンクの生地を使用した色とりどりのドレスなど、それぞれの思いの詰まった優雅なドレスに、集まった大勢の学生や教職員からは感嘆の声と共に多くの拍手が贈られました。

これらのドレスは、卒業制作展「ブルーム展」にて展示されました。





## 古典芸能研究センターからの お知らせ



### 公開研究会「説経節—情念の語り物—」

神戸女子大学古典芸能研究センターは、平成27年11月28日(土)に公開研究会「説経節—情念の語り物—」を開催し、約150名の参加者を迎える盛況となりました。

この公開研究会は、平成25年度文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に採択された古典芸能研究センターの研究プロジェクト「日本古典芸能の横断的総合的研究拠点の形成」の一環として開催したものです。

午前中は、講演が二つ並びました。最初は、大谷大学名誉教授 沙加戸 弘氏の「絵解きと説教—



真宗寺院における教化の展開」でした。沙加戸氏は、真宗教団において「説教」がどのように成立し変遷したかを話され、最後に近年まで活躍していた名人の節談説教を聞かせてくださいました。

続く神戸女子大学名誉教授 阪口 弘之氏の講演「語り物としての説経—栄華循環の神仏利生譚」では、「説経は神仏と人間の、命の更新(死と再生)の物語」であるという新しい視点を提唱され、「さんせう太夫」「松浦さよひめ」「かるかや」を実例に解説しました。

午後は、4名の研究者による研究発表が行われました。説経節の基層となる唱導説話、奈良絵本・奈良絵巻となった説経の様相、近世における説教者のあり方、現代に残る説経浄瑠璃の紹介など、各専門家が、説経についてそれぞれの角度から焦点をあてた内容が続きました。

参加者は講演や研究発表を終始熱心に聴講していました。2階の展示室では、公開研究会にあわせて、企画展「説経「おぐり」の世界—説経節の広がり—」を開催しました。古典芸能研究センター所蔵の志水文庫から、説経のテキストである正本



早稲田大学文学部  
和田修准教授

や説経「おぐり」を基にして展開された浄瑠璃や歌舞伎の資料、「おぐり」の世界に大きく関わる仏画などを展示しました。休憩時間などには多くの来室者が熱心に資料を見学していました。



神戸女子大学名誉教授 阪口弘之  
古典芸能研究センター特別客員研究員



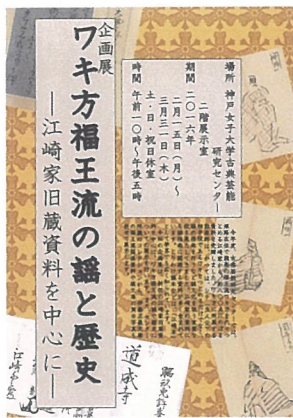
国文学研究資料館教授 小林健二  
古典芸能研究センター客員研究員

古典芸能研究センターでは、この公開研究会に先んじて、神戸女子大学・神戸女子短期大学オープンカレッジ秋期講座において「説経節—人は神仏に何を托そうとするのか—」と題する全6回の特別講座を開講し、好評を得ていました（平成27年10月14日（水）から11月18日（水））。そのため、今回の参加者は研究者だけに留まらず、説経節に関心をもつ一般の方も多く見受けられました。この公開研究会を通して、さまざまな参加者がそれぞれの立場で「説経節」という語り物に思いを馳せることができた一日だったのではないのでしょうか。



なお、この公開研究会の内容は、研究プロジェクトの成果刊行物として今年度に公刊の予定です。

### 企画展「ワキ方福王流の謡と歴史—江崎家旧蔵資料を中心に—」



平成28年2月15日（月）から3月31日（木）の期間、企画展「ワキ方福王流の謡と歴史—江崎家旧蔵資料を中心に—」を開催しました。

平成27年度、古典芸能研究センターでは、姫路在住で能楽の福王流ワキ方を代々つとめる江崎家から、約800点にのぼる資料を受贈しました。ワキ方に所属する能楽師は、かつては、シテ（主人公）の相手役であるワキをつとめるだけでなく、謡の指南を行うなど謡文化を担う重要な役も果たしてきました。江崎家の資料にも謡指南に関連する資料が多く含まれています。

この企画展では、ワキ方福王流の謡や歴史について、新収の江崎家旧蔵資料を中心に、センター所蔵のコレクションから、伊藤正義文庫の福王流関係資料や橘文庫の舞台写真も併せて展示しました。



沼州雨画「梅若万三郎翁三老女記念画帖」より「関寺小町」（昭和14年）

### 神戸女子大学古典芸能研究センター編

#### 『能面を科学する：世界の仮面と演劇』平成28年3月刊行

平成26年度に開催した国際研究集会「見つめる能面・能面を見つめる」の成果を纏めた古典芸能研究センター編『能面を科学する：世界の仮面と演劇』が、平成28年3月に勉誠出版株式会社から刊行されました（本体価格4,200円）。研究プロジェクト「日本古典芸能の横断的総合的研究拠点の形成」（平成25年度文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」採択）の初めての成果刊行物です。



## 平成28年度 科学研究費助成事業採択状況

平成28年度の科学研究費助成事業について、本学園の採択件数は大学37件(継続25件、新規12件)、短期大学1件(新規1件)でした。科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までの「学術研究」を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」です。独創的・先駆的な研究であるかの審査を経て採択された研究に対して助成が行われます。

平成28年6月現在

研究種目	研究代表者	研究課題名
基盤研究(B)	家政学部・教授 砂本 文彦	日本統治期朝鮮の貸家と都市構造に関する研究
基盤研究(C)	文学部・教授 森 尚也	ベケット作品／草稿におけるテキストと図：ライブニッツ的組み合わせ術と存在論の研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 狩野 百合子	エキストラバージンオリーブ油の食習慣に基づいた複合的栄養機能の解析
基盤研究(C)	文学部・教授 永瀬 朋枝	全集未収資料集の作成による藤村研究の再構築
基盤研究(C)	文学部・准教授 久野 和子	「場としての図書館」の統合的研究：日本の新しい21世紀型図書館パラダイムの提唱
基盤研究(C)	文学部・教授 狩野 恭	8-10世紀インドにおける主宰神論争史研究
基盤研究(C)	文学部・教授 山内 晋次	火薬原料の国際流通からみた前近代の日本とユーラシア
基盤研究(C)	文学部・教授 松下 孝昭	日露戦後における軍隊の立地と遊廓をめぐる都市地域社会
基盤研究(C)	文学部・教授 今井 修平	播磨国小藩領における地域社会構造の歴史的研究
基盤研究(C)	看護学部・准教授 田村 康子	モロッコにおける助産師を対象とした産痛緩和ケア教育プログラムの効果に関する研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 置村 康彦	分岐鎖アミノ酸の筋萎縮抑制作用の基盤を形成する成長ホルモンの役割
基盤研究(C)	文学部・非常勤講師 李 春子	東アジアの「水」を巡る「伝統の森」の文化の資料化
基盤研究(C)	家政学部・教授 栗原 伸公	昆布摂取および昆布と酢同時摂取による高血圧予防メカニズム
基盤研究(C)	文学部・准教授 橋本(松木) 礼子	方言の推量表現に関する文法記述的研究
基盤研究(C)	文学部・教授 吉村(森本) 真美	イギリス帝国と近代日本一帝國的諸事業・思想の越境的伝搬と展開
基盤研究(C)	健康福祉学部・教授 泉 妙子	介護の可視化 介護技能分析表の作成と暗黙知管理ツールの開発
基盤研究(C)	文学部・准教授 小原 依子	リハビリテーション病院における音楽療法の効果判定と技法開発のための実践的研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 山根 千弘	コットンギャップを埋める再生セルロースの構造設計と制御
基盤研究(C)	看護学部・教授 東 ますみ	糖尿病患者に対するセルフレギュレーションに基づく遠隔看護の有用性
基盤研究(C)	看護学部・教授 玉木 敦子	地域母子保健における周産期うつ病の予防的介入に関する研究
基盤研究(C)	家政学部・准教授 木村 万里子	いんげん豆類に含まれる高機能性オリゴ糖の探索とその構造解析
基盤研究(C)	健康福祉学部・助教 糸井 亜弥	児童の身体活動量、16～20年後の変化(都市部・農村部の同一小学校における調査)
基盤研究(C)	文学部・教授 田中 美紀子	カントの批判哲学から晩年の思想への発展—『オプス・ポストウム』の全訳に向けて
基盤研究(C)	文学部・教授 安原 順子	日本語教員養成と日本語学習者のため双方向学習プログラムの研究
基盤研究(C)	健康福祉学部・教授 植戸 貴子	中高年知的障害者と高齢の親の同居家族への相談支援：障害分野と高齢分野の有機的連携
基盤研究(C)	健康福祉学部・教授 小笠原 慶彰	近代神戸において社会事業の展開に寄与した人物に関する研究
基盤研究(C)	健康福祉学部・准教授 佐藤 晋子	特別支援学校における摂食・嚥下障害を有する児童・生徒に対する給食整備に関する研究
基盤研究(C)	看護学部・講師 馬場 敦子	外来通院中の高齢糖尿病患者のフレイルを改善・予防するマネジメントプログラムの開発
基盤研究(C)	看護学部・教授 下敷領 須美子	短期母乳栄養を選択したHTLV-1陽性妊産婦への訪問助産師による継続支援の開発
基盤研究(C)	看護学部・教授 藤田 冬子	介護者のためのエンハンスメント・プログラム活用による在宅療養支援
基盤研究(C)	幼児教育学科・准教授 畠山 由佳子	子ども虐待ケースに対する区分対応システムでの支援型対応実践モデルの開発的研究
挑戦的萌芽研究	看護学部・教授 横内 光子	システムシミュレーションを用いた病院防災ベストプラクティスに関する基礎的研究
挑戦的萌芽研究	文学部・教授 野口 和美	米国の保健外交政策における民間財団の影響に関する研究
挑戦的萌芽研究	健康福祉学部・准教授 清水 弥生	認知症の人の生活ニーズを中心とした生活支援モデルの構築
挑戦的萌芽研究	家政学部・教授 砂本 文彦	農地転用メカニズムとしてみた軍港都市の形成と地域社会の応答に関する研究
研究活動スタート支援	看護学部・講師 丸山 有希	小中学校におけるいじめ発作リスクがある児の疫学と発作対応、健康管理の現状と課題
研究活動スタート支援	看護学部・講師 元木 絵美	薬物療法を受けている関節リウマチ患者のアドヒアランスを促進するケアモデルの開発
研究活動スタート支援	看護学部・講師 福山 敦子	アウトリーチ支援により重度の精神障がい者の回復過程を支える看護の役割に関する研究

※ゴシック文字は今年度新規採択(13件)

科学研究費助成事業に採択された研究紹介

全集未収資料集の作成による  
藤村研究の再構築

神戸女子大学文学部 日本語日本文学科 教授 永瀨 朋枝



大学院授業風景

「藤村」は、「名も知らぬ遠き島より流れ寄る椰子の実一つ」などの詩や、『破戒』『夜明け前』などの小説を書いた島崎藤村です。現在、藤村の文章を一番多く収めているのは、『藤村全集』（筑摩書房 昭和41～46年刊行）全十八巻です。ここに入っていない藤村の文章を見つけて集め、そこから藤村を考え直すことが研究の目的です。

たとえば、幼い子どもたちを残して妻が死去し、藤村は、手伝いに来ていた姪を妊娠させてしまい、フランスへ行きます。そして帰国後、姪とのことを『東京朝日新聞』に連載小説『新生』として発表します（前編：大正7年、後編：大正8年）。

作品の中に主人公が、作品発表によって社会的に葬られるのではないかと躊躇し、大学で受け持っていた講座も遠慮して断り、引き籠って謹慎の意をあらわしていた、と書いてあります。

けれども、この頃藤村は、『大阪朝日新聞』『中央文学』『新愛知』『中外』の応募作品の選者をつとめていました。選者をつとめたことは、作品には書かれておらず、『藤村全集』にも入っていません。選者は、社会的に抹殺されそうな作家ではなく、社会的に認められた作家になるものでしょう。『新生』発表の頃、藤村は謹慎していた、というのは、『新生』にそう書いてあるから、そのように思わせられていた面が強いのかかもしれません。『新生』の読み方だけでなく、作品と作家像についての考えも変わってきます。

また、上記のうち『大阪朝日新聞』では、内田魯庵・幸田露伴・島崎藤村の三人が選者でした（「懸賞小説当選」大正6年12月13日朝刊）。三人がつけた点数は順に、一等「明ゆく路」90・85・71、二等「宿命」99・83・63、選外の「返らぬ過去」35・70・95、「泥道」40・60・85、「魔はれし人々」25・68・90でした。こんなに点差が開くことは珍しいのですが、近代文学の懸賞や文学賞とは何なのか、ということも考えさせられます。

全集未収資料によって、藤村だけでなくさまざまなことを明らかにできればと思います。



島崎藤村の全集未収資料の一部

神戸女子大学 平成28年3月卒業生の国家試験の結果について

第30回 管理栄養士国家試験	受験者数	合格者数	合格率
神戸女子大学	152	139	91.4%
管理栄養士養成課程(新卒)	9,015	7,673	85.1%
全国合計	19,086	8,538	44.7%
第18回 精神保健福祉士国家試験	受験者数	合格者数	合格率
神戸女子大学	5	4	80.0%
保健福祉系大学等(新卒)	1,813	1,344	74.1%
全国合計	7,173	4,417	61.6%
第28回 社会福祉士国家試験	受験者数	合格者数	合格率
神戸女子大学	47	29	61.7%
福祉系大学等(新卒)	9,441	4,436	47.0%
全国合計	44,764	11,735	26.2%

## 学位取得者及び学位論文(概要)

### 平成27年度 博士学位取得者 博士論文概要

平成27年度は、神戸女子大学大学院家政学研究所 食物栄養学専攻に以下の2名から学位論文が提出され、博士(食物栄養学)の学位が授与されました。

平成28年3月16日 今井 里佳氏(課程博士)、森元 直美氏(論文博士)



<課程博士>

今井 里佳 (指導教員:竹中 優教授)

論文題目:「Transgenic mice overexpressing glia maturation factor- $\beta$ , an oxidative stress inducible gene, show premature aging due to Zmpste24 down-regulation (Glia maturation factor- $\beta$ を過剰発現させたマウスは、Zmpste24 mRNA合成量の低下に起因した老化促進を示す)」

脳神経特異的因子glia maturation factor- $\beta$  (GMF)は、蛋白尿刺激により腎近位尿細管に異所性に発現誘導される。本論文では、異所性GMF発現が及ぼす影響について検討を行うことを目的とした。GMFを全身に強制発現させた遺伝子改変マウス(GMF-TG)はヒトの老化と類似した表現型が認められ、短命であった。早老症は、ラミンA(核膜の裏打ちタンパク質)の異常によって引き起こされることが明らかとなっている。GMF-TGの外観は、ラミンAの

異常を伴う早老症マウスと類似していた。故に、GMF-TGにおけるラミンA発現について解析を行った。ラミンAは前駆体であるプレラミンAが、プロテアーゼ(Zmpste24)により切断され生成される。GMF-TGではZmpste24発現量が低下し、異常ラミンAの蓄積が認められた。これらの結果より、GMF-TGはラミンAの異常を伴う早老症マウスと類似した病態をもつ、新規の老化促進モデルマウスである可能性が示された。



<論文博士>

森元 直美 (指導教員:瀬口 正晴教授)

論文題目:「Breadmaking Properties of Frozen-and-Thawed Bread Dough (冷凍ドウの製パン性低下の原因と多糖類による製パン性改良の可能性について)」

長時間かかる製パン工程を短縮し、パン職人の労働環境改善のため、パン生地を冷凍貯蔵する方法が開発された。しかし、製パン性(パン高、比容積)の低下から、その技術の利用はパン生産量全体の7%(食品需給センター、2014)にすぎない。本研究は製パン性低下の原因を調べ、それに基づいた改良方法を見出すことを目的とした。

まず、冷凍による製パン性低下とドウから抽出される遊離液体量を調べ、これらの間に高い負の相関があることを示した。次に製パン工程中の3か所に冷凍・解凍工程を挟みこんだ3種類のドウの製パン試験から、製パン性低下は、加工の工程(発酵や成形)後の冷凍によって起こること

がわかった。さらにこの製パン性の低下するドウに、新たに砂糖とイーストを添加し、1次発酵、成形、2次発酵を行うと製パン性が回復した。これらのことから、製パン性低下の原因は、冷凍中におこるドウ中の水分の移動により、製パン性に必要な部分への水の欠如であることが明らかになった。そこで、水の移動を抑制することによる製パン性改良方法を考えた。13種類の多糖類による製パン試験を行った結果、guar gum, xanthan gum, tamarind seed gumといった吸水性の高い多糖類の利用は有効であった。

本研究により、冷凍ドウの製パン性低下の原因が明らかになり、製パン性改良方法の一つとして多糖類の利用の有効性が示された。

## 健康栄養学研究科 健康栄養学専攻(修士課程)誕生



健康栄養学研究科第一期生と研究科長の吉川豊教授

神戸女子大学大学院健康栄養学研究科 健康栄養学専攻(修士課程)が平成28年4月からポートアイランドキャンパスに開設されました。

健康福祉学部健康スポーツ栄養学科を基礎とし、健康維持・健康増進・介護予防などの「食(栄養)」について、「運動(スポーツ)」「福祉」の要素も含めて、研究・教育します。

**研究科 専攻名称:健康栄養学研究科 健康栄養学専攻(修士課程)**

**学 位:修士(健康栄養学)**

**入学定員:4名**

**収容定員:8名**

**開 設 日:平成28年4月1日**

## 家政学研究科 食物栄養学専攻 研究に励む大学院生紹介 研究助成も獲得

「食」と「健康」の観点から研究を進め専門家を育成する神戸女子大学大学院家政学研究科 食物栄養学専攻の博士前期課程と博士後期課程に在籍する大学院生が研究助成を獲得し研究に励んでいます。

### 丸山 紗季さん

- 神戸女子大学大学院  
家政学研究科食物栄養学専攻 博士前期課程
- 平成28年度笹川科学研究助成《学術研究部門》  
研究課題:「海藻と食酢の同時摂取による腎血管性高血圧(2K1C)モデルラットの血圧上昇抑制効果とその機序の検討」

### 瀬川 悠紀子さん

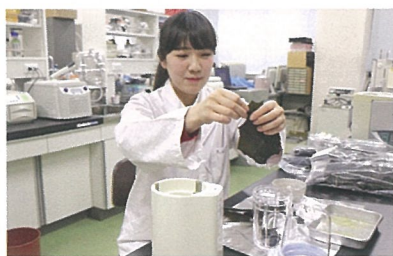
- 神戸女子大学大学院  
家政学研究科食物栄養学専攻 博士後期課程
- 第22回 うま味研究会研究助成 研究分野「うま味に関する応用研究」(食品科学、栄養学、臨床生理学など)  
研究課題:「昆布うまみ成分が腎血管性高血圧モデルラットの血圧および血管作動性ホルモンに与える影響」

丸山 紗季さんは、学部の卒業論文作成で昆布と食酢の同時摂取が高血圧抑制に効果があることを研究していく中で、自らの手で食材の効用を見つける楽しさを実感しました。そして、大学院に進学して研究を続けることを決意し、現在は昆布に加え、褐藻(わかめ、もずく)にも同様の効果があるかどうかについても研究を行っています。

瀬川 悠紀子さんは、博士前期課程でトウガラシに最も多く含まれる辛味成分のカプサイシンが高血圧を抑制する働きがあることを調べ、高血圧自然発症モデルラットにおいてそのメカニズムを探る研究で平成26年度笹川科学研究助成を受けました。今回はうまみを利用した日本の食文化に着目し、昆布、および昆布だしによる血圧上昇抑制効果のメカニズムを解明する研究に取り組み、二度目の研究助成を受けることになりました。

二人は栗原 伸公教授の研究室でともに高血圧予防や治療につながる知見を得ることを目指して、海藻のもつ効用を研究し、充実した学生生活を続けています。実験では、期待した結果がでない事もしばしばありますが、予想通りの実験データが得られ仮説が証明できたときの達成感は素晴らしく、新たに研究に挑む意欲も湧いてくるようです。

二人の研究は、ユネスコ無形文化遺産に登録された和食を推進しつつ、高血圧の予防や治療の一助となることも期待できます。



実験中の丸山紗季さん



実験中の瀬川悠紀子さん



実験で協力中



1983年	ハワイ大学(米国)	2010年	ウダヤナ大学(インドネシア)
1993年	ケント大学(英国)	2010年	西安工程大学(中国)
1997年	フライブルク大学(独国)	2010年	カセサート大学(タイ)
2000年	華南師範大学(中国)	2010年	高麗大学(韓国)
2006年	ガジャマダ大学(インドネシア)	2011年	チェンマイ大学(タイ)
2006年	オークランド工科大学(ニュージーランド)	2011年	カリフォルニア州立ポリテクニク大学ポモナ校(米国)
2006年	ピッツァー大学(米国)	2012年	アイルランガ大学(インドネシア)
2007年	チェンドラワシ大学(インドネシア)	2014年	静宜大学(台湾)

## ドイツ ホーエン・フロイデンシュタット病院の医師と臨床栄養士による特別講演会

神戸女子大学健康福祉学部 健康スポーツ栄養学科は、健康づくりやスポーツ選手に必要な栄養学をはじめ、世界的な視野で食文化や日々の食生活や運動不足からくる生活習慣病の予防についても教育・研究を続けています。

平成28年1月7日(木)・8日(金)に、「国際健康福祉プログラムII」の臨床栄養・健康福祉研修等を行っているドイツ ホーエン・フロイデンシュタット病院のベルティル・クルーテ(Bertil Kluthe)博士と同病院の臨床栄養士カリナ・ゲベレ(Karina Gebele)氏を講師にお招きし、同学科の学生を主な対象に特別講演会を開催しました。



ベルティル・クルーテ博士  
ホーエン・フロイデンシュタット病院  
専門医、医長、  
神戸女子大学客員教授

### 演題:「“メタボリックシンドローム”への世界的、学術的挑戦について」

通訳: 山下 俊介教授(7日)、梶原 苗美教授(8日)

クルーテ博士は、最初にメタボリックシンドロームの定義や肥満率の増加が世界的傾向にあること、肥満と糖尿病の相互関係、メタボリックシンドロームの人が、血管系疾患になるリスクが高いことなどを講義しました。

治療としては、運動や食事療法が最も効果的で、同病院における運動・食事療法を紹介しました。

学生は、配付された糖尿病健康チェックシートを博士の指示で各自記入し、普段の食事や運動で気をつけるポイントを確認するなど、自分自身の健康管理にも意識が高まりました。



カリナ・ゲベレ氏  
同病院 臨床栄養士

### 演題:「糖尿病治療における“ダウン2・スタディ”結果の利用と解説」

通訳: 松本 衣代准教授(8日)

ゲベレ氏は、2型糖尿病患者の栄養指導だけではなく、患者自身やその家族も精神的に支える治療の重要性を説きました。世界各国の糖尿病患者とその家族が生活で感じるストレスの内容を詳細なデータを提示し説明しました。

お二人の講演の終了後は、学生が肥満率の高い国の原因やドイツのカロリーの計算方法を質問して大変有意義な講演会となりました。



「国際健康福祉プログラムII」の研修を  
行吉誠之理事長に報告する両氏と担当の梶原苗美教授



ロータリアン同士のバナー交換をする  
行吉理事長とクルーテ博士

また、クルーテ博士とゲベレ氏は行吉 誠之理事長を表敬訪問し、学生たちの研修の様子を報告しました。博士がロータリークラブの会員でもあることから、今回の表敬訪問の目的のひとつでもあった行吉理事長とロータリアン同士のバナーの交換も行われました。



## 第11回 英語演劇鑑賞の夕べ ウィリアム・シェイクスピア作「テンペスト」公演

平成28年5月17日(火)神戸女子大学須磨キャンパス体育文化ホールにおいて、インターナショナル・シアター・カンパニー・ロンドン(International Theatre Company London 以下ITCL)によるウィリアム・シェイクスピア作「テンペスト」が上演されました。

ITCLの公演は、地域連携活動の一環として毎年開催し、今回は11回目の公演です。シェイクスピアの最晩年の作品でロマンス劇のひとつ、「和解」と「赦し」がテーマとなった感銘深い作品を約550名の観客が鑑賞しました。

少人数の出演者が複数の役を演じ、卓越した演技に、歌とコミカルな台詞もまじえた舞台は、終始観客を魅了しました。

公演に当たっては、文学部英語英米文学科の学生が中心になり、受付、会場案内、アナウンス、インターバルでの飲み物・スナック販売などの運営をしています。

上演前には、同学科を代表し4年生の池ノ上 栞理さんが日本語と英語で挨拶を行いました。お客様の中には外国人の方も多く、オープニングを飾るものでもあり緊張を伴いましたが、発音、イントネーションの練習を数週間前から毎日行い、見事に大役を果たしました。

この行事に参加した学生はITCLの俳優やスタッフの方と交流する機会もあり、生きた英語を学ぶこともできました。シェイクスピアの作品への興味や理解が深まり、幅広い教養を身につける一助ともなっています。



上演前に記念写真



受付の様子



オープニングの挨拶をする池ノ上栞理さん

## 身近な国際協力 フェアトレードを広める取り組み

5月の世界フェアトレード月間にあわせ、神戸女子大学須磨キャンパスでは、平成28年5月13日(金)から20日(金)の期間に、同好会「nicoloop」(以下ニコループ)と学園直営のベーカリーカフェ「marberg」(以下マーベル)が共同企画で、フェアトレードのチョコレートを使用したパンとコーヒーを販売し、フェアトレードの説明や活動内容を展示し啓蒙活動を行いました。

この企画には、イオントップバリュ株式会社から無料のチョコレートを提供していただきました。

マーベルの職員がこの企画のために特別に作った4種類のパンは、価格が通常より低く設定されたこともあり、連日完売するなど身近な人にフェアトレードに関心をもってもらうことができました。ニコループの学生はフェアトレードの推進をはじめ国際協力に関係した活動を継続して企画していこうと意気込んでいます。

また、同社の有本 幸泰様には、文学部神戸国際教養学科の2年生約30名が受講する「国際協力・援助政策論」(担当:野口 和美教授)の授業で、フェアトレードについての講義をしていただきました。受講学生は、フェアトレードの製品を購入することで、国際協力や援助ができることを学びました。

フェアトレード(Fair Trade)は、公正な貿易を行い、発展途上国で作られた作物や製品を適正な価格で継続的に取引することによって、持続的に生産者の生活を改善し、地位の向上と自立を目指す仕組み。



同好会「nicoloop」のメンバーと顧問の野口和美教授(右)



フェアトレードのチョコレートを使ったパン  
後列右から時計回りにマーブルパン、  
クリームチーズのタルト風パン、スコーン、パイ



フェアトレードコーヒーを使った  
コーヒーフロート